



編集・発行

大阪府立

呼吸器・アレルギー医療センター

大阪府羽曳野市はびきの3丁目7-1

TEL: 072-957-2121

FAX: 072-958-3291

HP: <http://www.ra.opho.jp>

E-mail: kokyucen@ra.opho.jp

インフルエンザにご注意を！

感染症センター

まつもと
松本

ともしげ
智成

先月1月9～15日の週に全国の医療機関約5000か所から報告されたインフルエンザの患者数は1医療機関あたり7.33人で、3.76人だった前週の2倍近くに増えていることが厚生労働省の統計でわかりました。都道府県別では、岐阜、愛知、三重、高知県など東海、四国地方で患者が多く、同じ期間、静岡県では前週の2.86人から8.41人へと約3倍に急増しています。

同省は今月9～15日の患者数は約40万人と推計。このうち5～9歳の子どもは約8万人と前週のほぼ4倍になった。これまで検出されたウイルスはA香港型が最も多いそうです。同省は流行が本格化したとみて手洗いやうがいの励行、室内の加湿など予防を呼びかけています。

当センターでも入院中の患者のインフルエンザ発症を防ぐ為に、面会制限や、面会時にマスク着用、手指消毒を御願いしております。インフルエンザのみならず感染性胃腸炎もはやる季節柄よろしく御願いたします。



集中治療科の紹介

集中治療科部長

まつおか
松岡

ひろと
洋人

呼吸器集中治療科(RCU)のご紹介の第3弾です。肺の病気などで呼吸が苦しくなった時に酸素を吸っても十分な酸素を取り込めない場合、人工呼吸を行うという方法があることを前2回でお伝えしてきました。人工呼吸の方法として、口から気管(喉から胸の内部への空気の通り道)へ管(挿管チューブ)を入れて、機械(人工呼吸器)につないで高濃度酸素を投与し圧力をかけて患者さんの呼吸を補助する方法があります。これを挿管人工呼吸といいます(他の方法としては非侵襲的人工呼吸(NPPV、NIV)というものがあります)。挿管チューブは外径1cm程度の管ですが、最初は口から気管へ挿管して空気の通り道を確保します(気道確保)。しかし、これは患者さんにとって大なり小なり苦痛を伴うので、鎮痛剤で痛みや不快感を軽減したり、麻酔薬で寝てもらったりしてもらいます。また、口からの挿管(経口挿管)が長期に及ぶと口の中を清潔に保てず、口の中の細菌が挿管チューブの外壁をつたって肺内へ入ってしまい、肺炎の原因となったりします。したがって、病気の改善が悪く機械の補助を必要とするため、一定期間挿管チューブを除去することができない場合、口から気管へチューブを通すのではなく、のどを切開して口を通さずに気管へ管を挿入するということが必要となります。これを気管切開といいます。気管切開をすると経口挿管時に比べ苦痛が減り、意識を出しやすい状況となります。合併症としては出血、創部感染、長期的には気管壁の壊死、気管狭窄、気管軟化症などがあります。また、意識があっても声帯を空気が通らないので声を出すことはできません。続きは次回にさせていただきます。



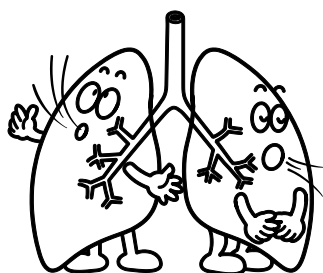
<薬局の紹介シリーズ②>

成人に対する吸入薬の説明について

薬局 ふくち ゆうや
福地 祐哉

当センターでは、気管支喘息や COPD(慢性閉塞性肺疾患)などの呼吸器疾患を治療されている患者さんが多数おられ、そういう方々の多くが、吸入薬による治療を受けています。吸入薬は内服薬等と違い、患部である気管支・肺に直接作用するので、少量で十分な効果が期待出来ます。

しかし、入院されている患者さんにお薬の説明をすると、吸入薬の操作が正しく出来ていなかったり、吸入力が足りずにきちんと吸入出来ない方が大勢おられるのが現状です。また、様々な形態の薬があるので、数種類の吸入薬を使っておられて使い方があやふやになっている方もおられます。



そこで私たち薬剤師の出番！！入院中は病院薬剤師、外来では保険調剤薬局薬剤師が吸入薬の使い方を説明したり、吸入力を確認したりすることが出来ますので、気軽にご相談下さい。以下に基本的な吸入の仕方の例を示しますので参考にして下さい。

喘息や COPD における吸入薬の治療は数年単位に及ぶことが多いので、正しい吸入方法をマスターし、呼吸苦を軽減して快適な生活をエンジョイしましょう！！

- ① 体を起こし、背筋をきちんと伸ばす
- ② 吸入前に息を吐く
- ③ 薬を大きく吸い込む(苦しくない程度に！！むせると薬を患部に到達させることができません)
- ④ 息を止める(3～5秒程度で結構です)
- ⑤ 副作用予防に、うがいをする(薬の種類によります。医師・薬剤師にご確認下さい)

※薬剤師等との吸入方法の確認は 1 回だけで終わらず、定期的(3ヶ月を目安)にされることをおすすめます。

○はびきの健康フォーラム○

日時：平成24年2月19日(日) 入場無料

場所：LIC はびきの(羽曳野市軽里1丁目1-1)

※ 当センターも参加します。みなさま是非ご参加ください。

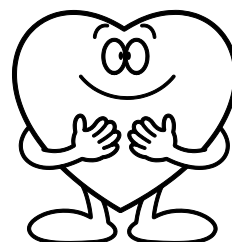
【講演会】13時30分開場、14時開演：ホールM ※要予約

「がんを考える」～がん予防、治療からリハビリまで～

【体験・相談コーナー】11時～13時30分 会場：アトリウム

◆ 肺年齢測定「あなたの肺は元気？」

肺年齢を知りたくないですか？肺年齢は簡単な呼吸機能検査でわかります。肺年齢の他に、COPD(慢性閉塞性肺疾患。タバコなどが原因で起こる。)や他の肺疾患の疑いを判定するコメントも表示されるので、簡単に今の肺の健康状態を知ることができます。



2月の教室案内

*カンガルー教室	●2月8日・15日・29日	午後1時半～	第1会議室
*喘息教室	●2月16日	午後2時半～	第2会議室
*禁煙教室	●2月2日	午後3時45分～	医療情報コーナー